

# CASBEE® 新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築（新築）2016年版
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0

## 1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	(仮称)新潟医療福祉大学様 学生寮新築工事 新潟県新潟市北区島見町字上割地772番2の内、外19筆 第一種中高層専用地域、法22条地域 集合住宅、 2018年3月 予定 23,156.84 m <sup>2</sup> 6,821.58 m <sup>2</sup> 6,796.42 m <sup>2</sup> 地上1F・2F S造 実施設計段階評価 2017年7月27日	
---	---	--

## 2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{43.4}{39.1} = 1.1$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

## 3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価アイコン	項目名	コード	スコア
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	3.1		バリアフリー計画	Q2.1.1.3	3.0
			維持管理	Q2.1.3	3.0
			設備の更新性	Q2.3.3	3.2
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	2.6		耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1	3.0
			信頼性	Q2.2.4	2.2
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.0		建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1	4.0
			自然エネルギー利用	LR1.2	2.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.0		節水	LR2.1.1	1.0
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4	5.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6	3.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	2.0		生物環境の保全と創出	Q3.1	1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	2.5		まちなみ・景観への配慮	Q3.2	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	2.0

## 4. 新潟市の重点項目の配慮事項

新潟市の重点項目に関する配慮事項を記載してください。

学生寮という役割を果たすために、建築基準法に則り、植栽植栽豊かな計画としています。

敷地内には、雨水浸透施設を設置し、雨水の敷地外への流出を出来るだけ少量に抑えるよう、計画しています。

また、敷地内を積極的に緑化し、建物高さも2階建てとして低くして近隣に対するの圧迫感を低減するなど、周辺環境に溶け込むような建築計画を行っています。

加えて、共用棟及び住居棟9・14はバリアフリー対応の建物として誰もが安心して建築物を利用できるように配慮しました。

# CASBEE®新潟

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)新潟医療福祉大学様 学生寮新築工事	階数	地上1F・2F
建設地	新潟県新潟市北区島見町字上割地772番2の内、外19筆	構造	S造
用途地域	第一種中高層専用地域、法22条地域	平均居住人員	606人
地域区分	5地域	年間使用時間	4,015時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2017年7月27日
敷地面積	23,157 m <sup>2</sup>	作成者	福田 恵大
建築面積	6,822 m <sup>2</sup>	確認日	2017年7月27日
延床面積	6,796 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
自然豊かな環境で、のびのびと学生が学業及びスポーツに打ち込める住環境を整備する計画です。	特にありません。	
<b>Q1 室内環境</b> シェアハウス形式となりますが、寮室ドアにはセキュリティを設け一定のプライバシーを確保しつつ、入居者で協力し生活を送れるように配慮しております。	<b>Q2 サービス性能</b> 各建物の隣棟間を極力離し、各建物の居室が明るく開放的になるように配慮しました。また、各寮室にはカーテンをあらかじめ設け、グレア対策を図ります。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内には多くの緑地を設け、歩行者空間の遮熱環境緩和に配慮しました。
<b>LR1 エネルギー</b> 外壁の断熱性を高め、冷暖房負荷の低減に配慮しました。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 外構資材にリサイクル資材を活用し、環境負荷低減に配慮しました。	<b>LR3 敷地外環境</b> ゴミ置き場に関してですが、十分なゴミ捨てスペースを確保し、ゴミの多分別が可能な計画となるように配慮しました。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される